









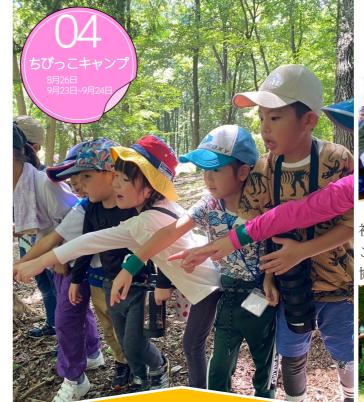






宮っこのホームマウンテンに

今年から新たに始まった春の主催事業「のぼろう! みどりのはるな山!」。今年は抽選で選ばれた8組の家族が標高524mの"榛名山"登山に挑戦しました。疲れてくじけそうになっても、親子で手を取り励まし合うことで無事に登ることができました。山頂では、たくさんの笑顔があふれていました



「やってみよう!新しいこと,楽しいこと」 24人の子どもたちが,家族の元をはなれて,今年も自然 の中でたくさんの「初めて」に挑戦しました。



初めての事にどんどんチャレンジ!ドキドキの中,火をおこしたり野菜を切ったりしました。グループの友達と共に協力し合って作ったカレーライスの味は格別です。



「見る」「聴く」「触る」「感じる」。様々な感覚を使って自然と触れ合い、発見を楽しみました。夢中になって生き物や植物を見つめる子どもたちの姿はとてもかわいらしかったです。

榛名山登頂を目指し、みんなで声を掛け合い登りました。「やっと頂上についたー!」「景色がすごくきれい!」「お腹すいたー。」山頂で食べる自作おにぎりに、子どもたちは舌鼓を打っていました。



テーマは「ふれあい」

今年は14組の家族が参加しました。野外炊飯もお正月飾りづくりも、家族みんなでやらないと完成することができない"ちょっと難易度の高いもの"。大人も子どもも夢中になって、たくさんの家族のふれあいがありました。



野外炊飯のテーマは「クリスマス」。ということで "ローストチキン・フォカッチャ・スモア"を作り ました。お父さんに手を添えられながら野菜を切っ たり、家族分のフォカッチャを子どもたちだけで 作ったりするなど、子どもたちも大活躍!楽しい料 理を通して、家族の絆が深まったようです。 お腹がいっぱいになった午後は、"門松・しめ飾りづくり"にチャレンジ!のこぎりやハンマーなどの道具を使って、慣れない作業に戸惑いながらも助け合って作りました。「やったぁ。完成♪」「早く飾りたいな!」家族の思いがたくさんつまった、世界にひとつだけの特別なお正月飾りができました。